

文京区障害者（児）実態・意向調査における質的調査について

1 目的

次期障害者（児）計画策定に向けた基礎資料を得るため、計画策定前年度に障害者（児）実態・意向調査（以下、「実態調査」という。）を実施することとしている。

実態調査は、区内の障害者・児等に対するアンケート調査（量的調査）が基本となるが、知的障害・精神障害当事者の生活実態や障害福祉施策への意向を、より詳細に把握するため、東洋大学社会学部社会福祉学科の学生による、グループインタビュー調査（質的調査）を実施する。

2 調査方法

区内施設に訪問又は zoom 等のオンラインツールの活用により、グループ方式のインタビュー形式。

※都外入所施設については、原則として zoom 等のオンラインツールの活用により、実施。

3 調査対象

場所：区内施設 15 か所程度（生活介護、就労継続支援 B 型、共同生活援助等）、
都外入所施設 2 か所程度

人数：約 120 人（施設を利用している知的障害者・精神障害者）

4 インタビュー調査実施時期

令和 4 年 7 月下旬～9 月下旬

5 調査内容及び項目

〔知的障害者〕個人属性（家族構成等）、日中の過ごし方、困っていること、今後希望する生活、相談相手、地域参加等

〔精神障害者〕個人属性（家族構成等）、病気（医療の利用状況）・障害の状況、日中の過ごし方、困っていること、就労への意欲、今後希望する生活、相談相手、地域参加等

6 報告書作成

本調査の報告書は、本調査の分析結果及び別途区が委託して実施する量的調査（アンケート調査）の分析結果を 1 冊にまとめたものとする。